

雲仙岳の噴火警戒レベル判定基準について

雲仙岳の噴火警戒レベルの判定基準について、最新の科学的知見を反映する等の精査作業が完了したことから、3月13日、気象庁ホームページで公表します。なお、今後も火山活動の状況や新たな知見をもとに随時見直しを図っていきます。

詳細については、以下の気象庁ホームページをご参照ください。

【噴火警戒レベルの判定基準の公表方法】

気象庁ホームページの「噴火警戒レベルの判定基準」のページ（以下 URL）で公表

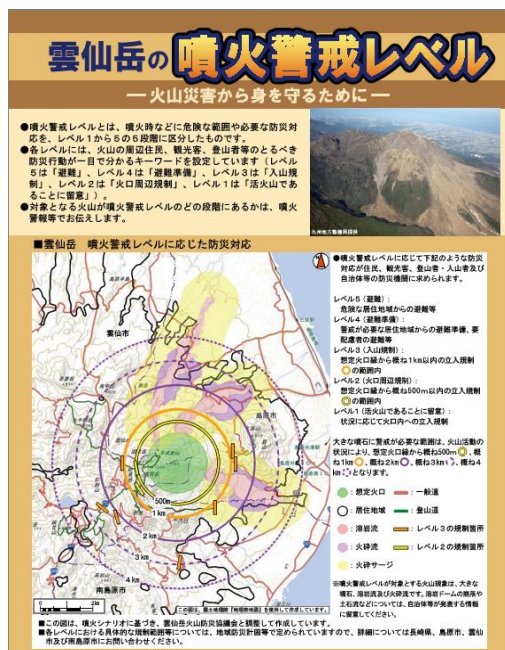
https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/keikai/level/ki_junn.html

雲仙岳の噴火警戒レベルのリーフレットについて

3月14日に雲仙岳の噴火警戒レベルのリーフレットを更新します。最新のリーフレットについては、気象庁ホームページをご参照ください。

雲仙岳の噴火警戒レベルのリーフレットは、以下 URL で公表

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/level/PDF/level_504.pdf



雲仙岳の噴火警戒レベル			
警戒レベル	名称	火山活動の状況	警戒基準の概要
5 (特別警戒)	噴火警戒レベル5 (特別警戒)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生し、あるいは発生している状態にある。	●大きな噴石や火砕流、溶岩流が居住地域に到達するような噴火の発生が予想されている。 ●噴火が発生し、大きな噴石や火砕流、溶岩流が居住地域に到達する。
4 (大規模警戒)	噴火警戒レベル4 (大規模警戒)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生し、あるいは発生している状態にある。	●大きな噴石や火砕流、溶岩流が居住地域に到達する。
3 (火山警戒)	噴火警戒レベル3 (火山警戒)	居住地域の近くまで噴火の影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が生じる）噴火が発生し、あるいは発生している状態にある。	●噴火が発生し、噴火口から半径1km以内の火山活動の監視が厳密に行われる。
2 (火山注意)	噴火警戒レベル2 (火山注意)	火山活動の影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が生じる）噴火が発生し、あるいは発生している状態にある。	●噴火が発生し、噴火口から半径500m以内の火山活動の監視が厳密に行われる。
1 (平常警戒)	噴火警戒レベル1 (平常警戒)	火山活動は静穏で、噴火の影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が生じる）噴火が発生し、あるいは発生している状態にある。	●火山活動は静穏で、噴火の影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が生じる）噴火が発生し、あるいは発生している状態にある。

（3月14日に掲載するリーフレット：左=表面、右=裏面）